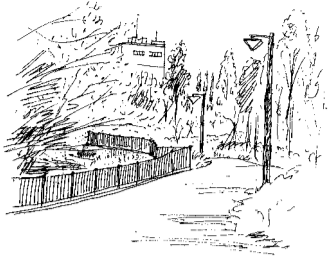


哲学堂公園  
中野区松が丘一丁目にある、中野区立の公園。桜の名所。



# 健友

第3号 2001年3月10日  
発行 医療法人社団健友会  
健友会友の会  
〒164 0001 中野区中野5 44 3  
TEL 03 3387 3051  
FAX 03 3388 1381  
編集 「健友(けんゆう)」編集委員会



上・注射の際に使用する酒精綿は、以前は看護婦が作っていた。いまは密閉容器に入ったものを購入。使う分だけ、蓋つきの容器に移しかえることになった。  
右・手洗い用の水道は自動栓に、石鹸も液体石鹸に変更した。

## 「患者さんとともに医療の安全を…」を合い言葉に

「私の病院は(診療所は)大丈夫?」  
二〇〇〇年七月、セラチア菌による入院患者の死が報道されて以来、医療事故や感染など医療の安全性への関心は急速に高まっています。そこで、健友会の病院・診療所はどうか?中野共立病院・付属診療所の場合を見てみました。

「事故届」をすくなく医療事故の原因のベ

スト4は、第一位・薬剤関連、二位・転倒、三位・指示伝達まちが

い、四位・患者さんまちがい―これは中野共立病院・診療所の「医療安全推進委員会」(99年秋にスタート、委員長は病院長の大山美宏医師)が発表した、二〇〇〇年度事故報告書の統計結果です。

いま、委員会では即事故届け出用紙「を作り、一二時間以内に報告書に書く習慣をつけること、そして職場こ

とに分析し改善する力をつけること、に総力をあげています。

局長の平林政子さんは強調します。たとえば入院患者さんへの注射の場合、①コンピューターに力を入れる人、②注射を用意する人、③病棟の担当者、④看護婦、⑤患者、の五人が意識してチェックするのです。こうすることで、たとえ医師の指示まちがいがあつたとしても誰かがそれを発見し、未然に防げる」と。

多いた注射関連薬剤関連のうち、もっとも多いのは注射関係。注射は薬剤師がいなくとも行われることが多いからです。注射ミスを防ぐためには「多重チェック機構が必要」と、病院薬

### 事故を未然に防ぐ工夫が いっぱい

#### 中野共立病院と 付属診療所の奮闘

した。毎日、リハビリに通って牽引やホットパックを受け、ひどい時には注射も「痛くて痛くて、涙が出るほどだった」



が、いまでは昔のようにに踊れそうなくらい「具合がいい」。芝崎さんは実は日本舞踊の先生なのです。「注射が効いたのか、リハビリが効いたのかよくわからないけど、おかげさまで」と、うれしそうに笑います。

そんな芝崎さんに昨年一月、週一回の注射が四日間続いたことがありました。「毎日やっていていいのかなあ」と思いはじめたころ、診療所では

感染防止に努力が  
MRSAやセラチア菌、結核菌など、院内で起こる感染症への対策は、九九年二月から「感染委員会」と「感染対策実践チーム」がつくられて活動してい

### 話題 の 人



#### 山が大好き かわしん友の会副会長の 信澤瑞吉郎さん

北滋賀の三日月池周辺の原始のままの水芭蕉を発見したの



リハビリ室で牽引中の芝崎さん

この間、実践チーム(責任者―久保智子副総婦長)が改善に着手したことは主として三つ。①消毒薬の変更、②手洗いの変更と徹底、③針刺し防止、です。

#### まちがわない工夫

大山美宏院長はいいます。入院患者さんに「リストバンド」(患者さんの名前入りの腕輪)をつけていただく、患者さんの名前はフルネームで呼び合う、いつもと違う薬・違う検査で変だと思つたときは指摘していただく。これが「患者まちがいをなくすための手だて」であると。

「診療所ではリストバンドの替わりになるものを考案中」(野中裕子婦長)とのこと。「患者さんとともに医療の安全を」が、スタッフたちの合い言葉となつていきます。

### 友の会、諸団体を招いて

#### ―健友会・東医研が「新春のつどい」

一月一七日、NTT中野クラブで健友会・東医研共催「二〇〇一年新春のつどい」が開かれ、中野・杉並の諸団体の代表、友の会の役員さん、職員など六五名が参加しました。

一月二〇日、「21世紀幕開け」

が開催されました。友の会会員や診療所の元職員など二二〇人を超える人が参加し、たいへん盛大で楽しい「つどい」になりました。

第一部は、坂本所長のあいさつや前足立区長で歯科医師の吉田万三氏による講演。第二部は懇親会で、踊りや歌、津軽三味線などの演奏が行われました。

「不景気でなかなか希望がもてなかつたが、吉田先生のいうように世の中は変わってきている。元気をもらった」などの感想が寄せられました。

### 祝賀会に120人以上が ―沼診50周年を祝うつどい

### 「がんばれ! 国家試験」

#### ―2・3看護婦内定者のつどい

中野共立病院は二月三日、ことし四月入職予定の看護婦・士一〇人とその親御さん八人が出席して、「内定者のつどい&ご家族様の病院見学会」を行いました。民医連・健友会・入職後のことについて話されると、みんな真剣な表情で聞き入っていました。

「専務に末廣」 インタビュ

どうなる？

新病院建設と 中野共立病院の跡

飯島 登 (健友会の会長) 武藤康子 (「健友」編集委員)



熱心にインタビューする飯島友の 会会長(左)と武藤編集委員(右)

武藤 「健友会長期計画(案)」が、機関紙「健友」号外で発表されましたが、この内容は友の会の会員さんや地域の方々にとって



インタビューに答える末廣 進専務

なかみをお知らせしたいと思ひ、号外にしてみました。まだ号外をお読みの方は、ぜひお読みいただきたいと思ひます。

が築三〇年経って老朽化し、建て替えの時期にきています。しかし、健友会の現在の力量からすると、二つの病院建設は不可能です。

武藤 何かあったら夜間でも診てくれる、年寄りにも親切な中野共立病院の存在は、この地域で生きていく私たちに安心を与えてくれています。

野のどこかに、改定された医療法の新しい基準に見合った、耐震性も重視した病院を建て

飯島 中野共立病院は、私にはたいへん思い入れのある病院です。だけど病院の規模や敷地面積、道路との関係で、もうここには

杉並区 行財政

杉並区は昨年一〇月、「スマートすぎなみ計画」と称して、一〇力年を見通した「行政改革大綱」と三力年の改革の方策を定めた「改革実施プラン」を策定しました。

中野区 行財政

昨年一〇月、「中野区行政五カ年計画」(案)が出されました。ことし四月からの計画で、二月一六日から開かれて中野区議会

毎年50〜70億円の 財政効果を見込む

区行政五カ年計画(案)が出されました。ことし四月からの計画で、二月一六日から開かれて中野区議会

中野区民の中に「行政五カ年計画の再検討を求めたい」という声が出ています。

3年間で134億円の 新たな区民負担が

山本芳郎

中野区 行財政

この計画案は、区民の生活に密着した内容が目白押し。中でも区立保育園、特別養護老人ホームなどの民

中野区民の中に「行政五カ年計画の再検討を求めたい」という声が出ています。

友の会 病院診療所

新患が増えています

天沼診療所 天沼診療所が昨年八月に移転してから、半年が経過しました。移転後のもっとも大きな特徴は、新しい患者が増えていることです。

初春の日帰り旅行(梅見&母狩り)

極寒の二月(水)朝、やまと診友の会の総勢四七名は、日帰り旅行の目的地に向けて出発しました。

「もちつき大会」が大盛況!

「準備がたいへんだからやめよう」と言いがらも、毎年続いている「もちつき大会」。ことしは二月一八日に行われました。



「花より団子」の言葉どおり、ほとんどの参加者が梅干・梅・干物と各地で買物を楽しみました。

又料理、時情豊かな景色そして...

去る二月一八日(日)、桜山友の会と日本共産党上高田、東中野、桜山後援会との協賛で、「三浦半島日帰りバスの旅」に出かけました。



「健友(けんゆう)」新年号で紹介された矢野トミさんが参加されている西荻窪診療所のデイケアは、一九八八年に開始され、現在定員二〇名で実施しています。

西荻窪診療所

「健友(けんゆう)」新年号で紹介された矢野トミさんが参加されている西荻窪診療所のデイケアは、一九八八年に開始され、現在定員二〇名で実施しています。

おしゃべりとジョーキングで気分爽快

江古田沼袋診療所友の会 沼診友の会の「健康歩く会」の活動を紹介します。

高齢者多田在宅サービスセンター 1日体験記

オープンしたばかりの「多田高齢者在宅サービスセンター」に、二月三日、一日体験に行っていました。



このスタッフは所長のほか、専任看護婦二人、ヘルパー一七人。掃除、お茶の用意とかいがいしく動き回ったあと、ミーティングをして一日がスタートします。

二年前に郷里の鹿児島から上京し、娘さんと二人暮らしをしている佐多さんは、川島診療所ですすめられてセンターに通うようになりました。

「普段は外出する機会がないので」と、娘さんはとても喜んでいました。

センターの一日は、脳と心と体を鍛えるスケジュールが組まれています。体を温める温熱療法、指先の体操をして脳の活性化を図るフィンガースポーツ、



しびしびだったゲームも、いつの間にかすっかり夢中に

ゴルフゲーム、輪投げゲームなど。ほかに風船ゲームをしたり、歌をうたったり…。温熱療法をしているうちに気持ちよさそうに眠ってしまったり、しびしびとはじめたゲームでは意外にも夢中になったり、ゆったりと流れる時間の中でスタッフ

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

「多田高齢者在宅サービスセンター」は小学校の余裕教室を利用してできたので、放課後には小学生がやって来て一緒に遊んだり、歌をうたったりと、高齢者とこどもの交流も期待できます。

「多田高齢者在宅サービスセンター」は小学校の余裕教室を利用してできたので、放課後には小学生がやって来て一緒に遊んだり、歌をうたったりと、高齢者とこどもの交流も期待できます。

ゆったり流れる時間、語らい、笑い、食べ、少しずつ元気に

小学生との交流も期待できる

と語り、笑い、食べ、少しずつ元気になっていく気が感じられ、センターの役割は大きいなと実感します。

「多田高齢者在宅サービスセンター」は小学校の余裕教室を利用してできたので、放課後には小学生がやって来て一緒に遊んだり、歌をうたったりと、高齢者とこどもの交流も期待できます。

「多田高齢者在宅サービスセンター」は小学校の余裕教室を利用してできたので、放課後には小学生がやって来て一緒に遊んだり、歌をうたったりと、高齢者とこどもの交流も期待できます。

外来・在宅の分析がめだつ 第1回健友会医療・運動交流集会で

二月二日(水)の午後、杉並公会堂で第一回健友会医療活動・運動交流集会が開かれました。今回は、新しい健友会になってはじめての交流集会で、活発な意見がつきつきと

全院所・事業所から一五人の職員が参加、会場は大入り満員の盛況ぶりでした。昨年一月に各職種から選出した実行委員会を発足させ、準備を開始。当日は医療活動分野が七演題、地域・

まちづくり分野が六演題、計二三演題が発表されました。診療所移転後の新患の追跡、在宅患者の動向、新患外来患者の期待など、外来・在宅医療を分析した発表、医療ミス防止や感染防止

のとりのみ発表が多かったことが今回の特徴といえます。ともすれば毎日の業務に忙殺されることが多い中で、他院所や事業所のさまざまな活動の一端を知ることができ、こつした交流集会の意義が確認されました。参加者からは、「ぜひ毎年開催して」という声があがっています。

紹介 青葉調剤薬局の巻

青葉調剤薬局は一九八三年に旧中野勤医協から独立。保険薬局として出発しました。四年前に増改築し、現在に至っています。

最近、薬の安全性が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。また、薬によっては血

が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。また、薬によっては血

が騒がれています。た時、薬との因果関係を調べ、二度と同じ副作用をおこさないようチェックしています。また、薬によっては血

ボランティア活動が課題に 城西診療所友の会

城西診療所の会、新春のついでが二月十七日、桃園地域センターで開催されました。

大雪に見舞われながらも四六名が参加。踊りに歌、ハモ二力演奏など多彩な出し物もあり、降り積もる雪をしり目ににぎやかなひとときを過ごしました。

介護保険が導入され、約一年。城西診療所の役員会でも「介護保険のすき間を埋めるような助け合い活動ができない

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。黄色い診療所です。若い人も気軽に受診してくれることを期待しています。

黄色い診療所になります 川島診療所

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。黄色い診療所です。若い人も気軽に受診してくれることを期待しています。

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。黄色い診療所です。若い人も気軽に受診してくれることを期待しています。

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。黄色い診療所です。若い人も気軽に受診してくれることを期待しています。

川島診療所は、現在、外装工事中。いままでの川島診療所の古くさい感じを一新し、大きくイメージアップした姿をお見せします。黄色い診療所です。若い人も気軽に受診してくれることを期待しています。

随筆

「イサム野口」をこ

父親が日本人(野口

イサム野口氏のこと

城西診友の会 大竹三千子

また、岐阜提灯から

また、岐阜提灯から

ります。そのころ、イ

花屋さんでの会話

杉並区宮前4丁目

加藤アヤ(63)

花を見まわしているよ

短歌

中野区弥生町

原 志恵(77)

七十路の「寿」掬いて

は成功したと思ひ、な



読者のひろば

に、パンジーの鉢を

聞くとはなしに二人

「がんばらない」

中野区中野3丁目

中野共立病院の大山

これは、長野の諏訪

小2でかけ算!

やまと診療所事務長

中園紳一郎

いまの小学生は、自

中国の高僧・鑑真展に思う

中野区上高田1丁目

小池賢次郎(65)

上野の森で、鑑真和

「健友けんゆう」の創刊によせて

桃井診療所事務長

加藤 秀大

診療所独自で新聞を

沼診50年の歴史、地域の声が...

沼診友の会副会長

大賀 敏良

沼診の「新春のつど

ドクターの素顔

新宿生まれ新宿育

ちの少女が、高校を

専門は循環器だが、ならなんでもOK

西荻窪診療所 辻恵美子医師(39)



内科

毎日です。

専門は循環器です

が、医療現場では臨

しくなれたかなあ...